

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI日本小型成長株選抜ファンド（愛称：センバツ）」は2026年6月22日に第24期決算を行いました。

当ファンドは、小型成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引市場に上場する中小型株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして積極的な運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第24期末（2026年6月22日）

基準価額	19,180円
純資産総額	632百万円
第24期	
騰落率	△2.0%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBI日本小型成長株選抜ファンド （愛称：センバツ）

追加型投信／国内／株式

交付運用報告書

第24期（決算日：2026年6月22日）

作成対象期間（2025年12月23日～2026年6月22日）

 **SBI Asset Management**

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

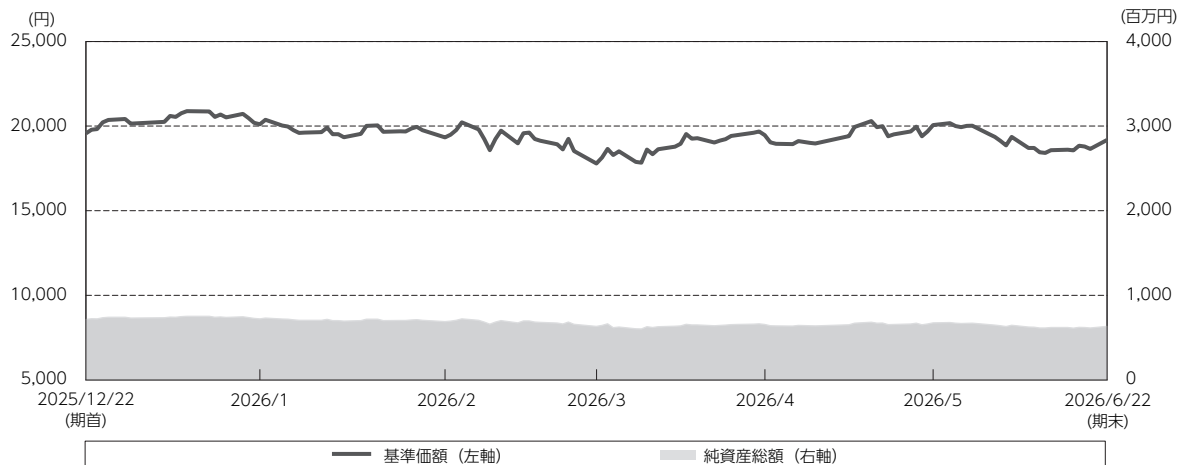
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

（2025年12月23日～2026年6月22日）



期 首：19,572円

期 末：19,180円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率：△2.0%（分配金再投資ベース）

（注1）当ファンドは、新規公開といういわば「第2の創業期」を成長の契機として、新たに成長を加速する、企業家精神に溢れた「次代を拓く革新高成長企業」の株式に厳選投資をするという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・2026年4月から5月にかけてAI・半導体関連、蓄電池関連、宇宙関連などの組入銘柄が大きく上昇したこと。

下落要因

- ・2026年2月にAIの台頭により「SaaSの死」が意識され、ソフトウェア関連銘柄が下落したこと。
- ・2026年3月に原油高によるインフレ懸念を背景に米利上げ観測が台頭し、中東情勢の緊迫化を嫌気したリスクオフの動きと相まって、新興株式が大きく下落したこと。
- ・2026年6月に中東情勢への警戒感、米大型IPOを抑えた換金売りなどを背景に、新興株式が大きく売られたこと。

1万口当たりの費用明細

（2025年12月23日～2026年6月22日）

項 目	当期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	144 円	0.740 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 85）	（0.439）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 53）	（0.274）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 5）	（0.027）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	21	0.106	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	（ 21）	（0.106）	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	25	0.129	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	（ 8）	（0.041）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	（ 17）	（0.088）	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	190	0.975	
期中の平均基準価額は、19,476円です。			

（注1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）消費税は報告日の税率を採用しています。

（注3）項目ごとに円未満は四捨五入しています。

（注4）売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

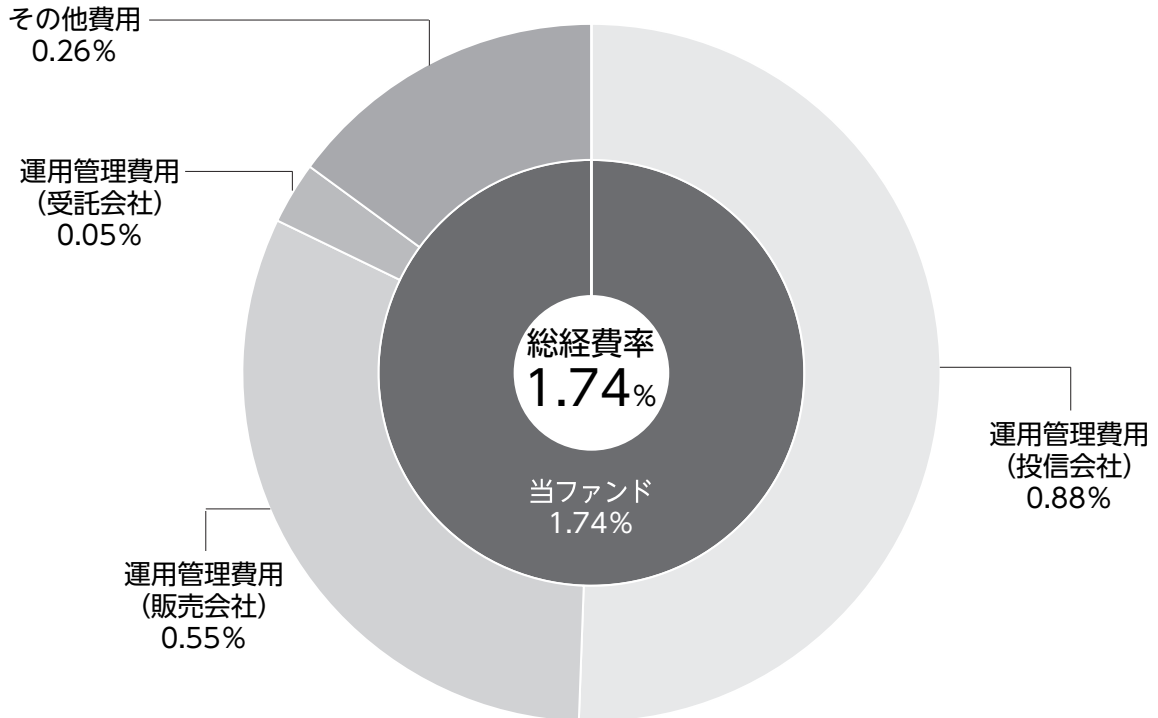
（注5）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（注6）当ファンドは実績報酬制を採用しています。当該実績報酬の支払いはありませんでした。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.74%です。**



（注1）上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年6月22日～2026年6月22日)



(注1) 当ファンドは、新規公開といういわば「第2の創業期」を成長の契機として、新たに成長を加速する、企業家精神に溢れた「次代を拓く革新高成長企業」の株式に厳選投資をするという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2021年6月22日 決算日	2022年6月22日 決算日	2023年6月22日 決算日	2024年6月24日 決算日	2025年6月23日 決算日	2026年6月22日 決算日
基準価額 (円)	22,566	16,076	21,365	16,275	19,040	19,180
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	△28.8	32.9	△23.8	17.0	0.7
純資産総額 (百万円)	1,506	883	1,133	743	762	632

(注1) 当ファンドは、新規公開といういわば「第2の創業期」を成長の契機として、新たに成長を加速する、企業家精神に溢れた「次代を拓く革新高成長企業」の株式に厳選投資をするという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。小数点第一位未満を四捨五入しています。

投資環境

(2025年12月23日～2026年6月22日)

当期、日本株式市場は、外部環境の変動を受けつつも、全体としては上昇基調で推移いたしました。期初はAI関連需要の拡大期待を背景に半導体関連株が市場を牽引し、日経平均は底堅く推移いたしました。加えて、企業による自社株買いや資本効率改善への取り組みが評価され、海外投資家の資金流入も相場の下支え要因となりました。

その後は、米国金利動向や為替の変動、日本銀行の金融政策正常化に対する思惑などを背景に一時的に変動性が高まる局面も見られましたが、押し目では買いが入り、相場は上昇基調を維持いたしました。特に半導体関連株は期待と調整を繰り返しながらも総じて堅調に推移し、指数への寄与度も高い状況が続きました。一方で、内需関連ではインバウンド需要の一巡や物価上昇の影響により、小売・サービスの一部に弱さが見られ、銘柄間のパフォーマンス格差が拡大いたしました。

2026年に入ってから、AIやデータセンター関連への中長期的な成長期待が株価の押し上げ要因となり、市場は高値圏で推移いたしました。結果として当期間は、半導体など成長テーマ株が相場を主導する上昇局面となる一方で、業種・銘柄間の格差が顕著に表れる展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2025年12月23日～2026年6月22日）

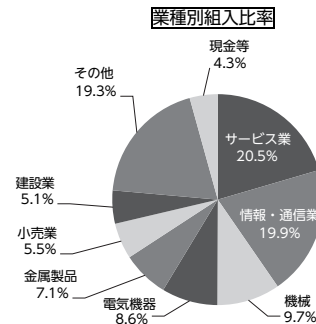
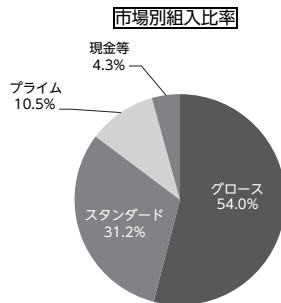
<当ファンド>

主要投資対象である小型成長株・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用いたしました。

<小型成長株・マザーファンド>

UBPインベストメンツ株式会社の助言をもとに投資判断を行い、運用いたしました。投資を行った銘柄は、わが国の株式のうち、新規公開といういわば「第2の創業期」を成長の契機として、新たに成長を加速する、企業家精神に溢れた「次代を拓く革新高成長企業」です。原則、公開後3年以内の企業を投資対象としています。ボトムアップ調査を行った銘柄のうち、成長性・収益性・安全性・革新性・株価水準等を総合的に評価判断し、おおむね50銘柄を組入れ、逐次銘柄見直しを行いました。また、銘柄分散、時間分散を考慮し、1銘柄で最も組入比率が高いものでも4%程度としました。

なお、株式の組入比率に関しては、おおむね95%以上を維持しました。期末の株式組入比率は95.7%となっております。



※組入比率はマザーファンドの純資産総額比です。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年12月23日～2026年6月22日)

当ファンドは、新規公開といういわば「第2の創業期」を成長の契機として、新たに成長を加速する、企業家精神に溢れた「次代を拓く革新高成長企業」の株式に厳選投資をするという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数を採用していません。

分配金

(2025年12月23日～2026年6月22日)

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第24期
	2025年12月23日～ 2026年6月22日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,180

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き小型成長株・マザーファンドを高位に組入れる方針で運用してまいります。

<小型成長株・マザーファンド>

引き続きUBPインベストメンツ株式会社の投資助言に基づき、革新的高成長が期待される企業へ投資を行い、信託財産の成長をめざします。

なお、当該マザーファンドに投資助言を行っているUBPインベストメンツ株式会社では、以下のようにコメントをしています。

当期（2025年12月23日～2026年6月22日）は、米・イラン軍事衝突や、「SaaSの死」に代表されるAI（人工知能）代替懸念の台頭など、株式市場を巡る環境が大きく変動した期間となりました。このような時こそ、地道な調査活動を通じて、マクロ環境を乗り越えて成長を遂げる企業を見出していくことが重要と考えています。例えば、原油価格高騰に伴う原材料価格の上昇を転嫁できる競争優位性を持っているか、AIが進化する中でも勝ち残っていくビジネスモデルを構築しているか、など中長期の視点を持って冷静に分析することが求められます。

弊社では2026年1月から2026年6月までの間に延べ約585社の経営者と個別直接面談を実施し、新たな投資助言候補の発掘に努めてきました。外的ショックによって株式市場が急変動するケースが増えています。弊社では、機動的に対応できるよう“森も木も見る”バランスを心掛け、特定セクターでの過剰なリスクテイクは控えることを意識し、より広範な領域へボトムアップ調査の幅を広げることで、引き続き革新成長企業を見出していきます。

お知らせ

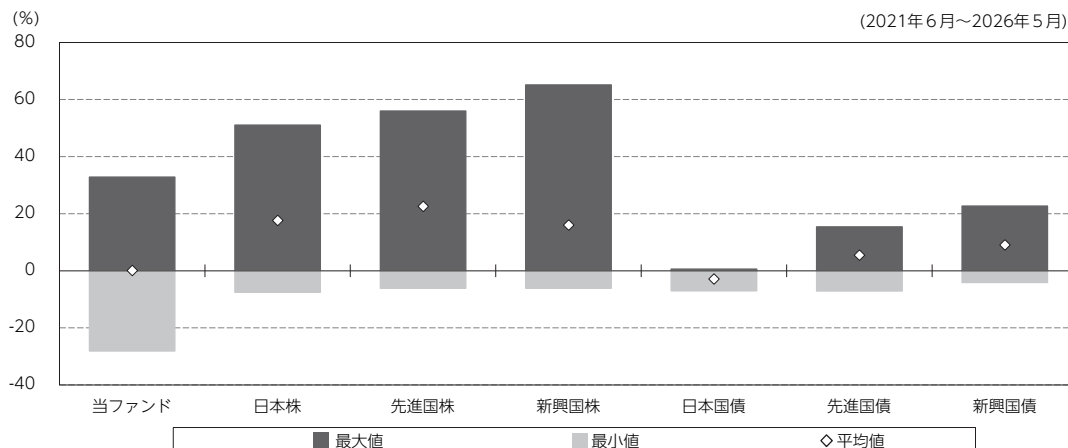
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	小型成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして積極的な運用を行います。	
主要投資対象	当 フ ァ ン ド (ベ ビ ー フ ァ ン ド)	小型成長株・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することもあります。
	マ ザ ー フ ァ ン ド	わが国の金融商品取引所上場株式のうち中小型株を主要投資対象とします。
運 用 方 法	当 フ ァ ン ド (ベ ビ ー フ ァ ン ド)	主として、小型成長株・マザーファンド受益証券に投資し、信託財産の積極的な成長をめざして運用を行います。 なお、マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
	マ ザ ー フ ァ ン ド	わが国の証券取引所上場株式のうち中小型株を主要対象とし、投資を行います。 また、株式の投資に際しては、新規公開という、いわば「第2の創業期」を成長の契機として、新たに成長を加速する、企業家精神に溢れた「次代を拓く革新高成長企業」を厳選して分散投資します。 なお、外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	年2回、6月22日及び12月22日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。 分配対象額の範囲は経費控除後の配当等収益及び売買益等の全額とします。委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	32.8	51.0	55.9	65.1	0.6	15.4	22.7
最小値	△28.1	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	0.1	17.6	22.6	16.0	△2.9	5.5	9.0

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年6月から2026年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2026年6月22日現在）

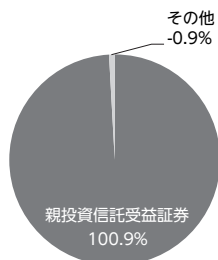
○組入上位ファンド

銘柄名	第24期末
	%
小型成長株・マザーファンド	100.9
組入銘柄数	1銘柄

（注1）組入比率は純資産総額に対する割合です。

（注2）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

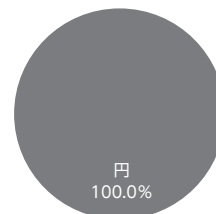
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

（注2）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

純資産等

項目	第24期末
	2026年6月22日
純資産総額	632,296,645円
受益権総口数	329,662,638口
1万口当たり基準価額	19,180円

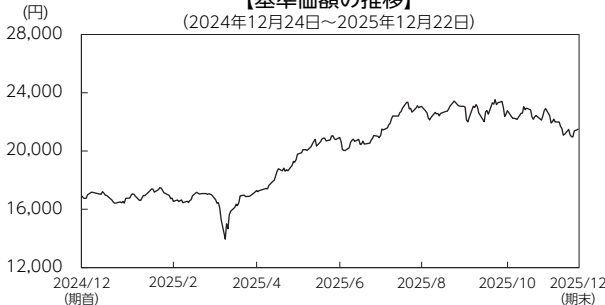
（注）期中における追加設定元本額は8,436,736円、同解約元本額は44,190,535円です。

組入上位ファンドの概要

小型成長株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年12月24日～2025年12月22日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年12月24日～2025年12月22日)

項目	当 期	
	金額	比率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	27円 (27)	0.134% (0.134)
合 計	27	0.134
期中の平均基準価額は、19,877円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2025年12月22日現在)

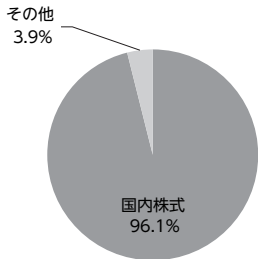
	銘 柄 名	業種/種別等	通貨	国 (地域)	比率 (%)
1	アイドマ・ホールディングス	サービス業	円	日本	3.7%
2	トライアルホールディングス	小売業	円	日本	3.6%
3	湖北工業	電気機器	円	日本	3.6%
4	MIC	サービス業	円	日本	3.6%
5	VRAIN Solution	情報・通信業	円	日本	3.6%
6	ワンキャリア	情報・通信業	円	日本	3.5%
7	INTLOOP	サービス業	円	日本	3.5%
8	守谷輸送機工業	機械	円	日本	3.4%
9	ビーイングホールディングス	陸運業	円	日本	3.4%
10	AeroEdge	輸送用機器	円	日本	3.4%
組入銘柄数			48 銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

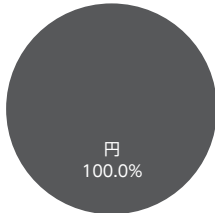
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2025年12月22日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えばこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。